

9 節 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (E P-G)

7. 9. 1 一般事項

この節は、コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等並びに屋内の木部、鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面で既存塗膜がつや有合成樹脂エマルションペイントの塗替え及び新規に塗る場合に適用する。

7. 9. 2 コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り

- (1) コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りは、表 7.9.1 により、種別は特記による。特記がなければ、B 種とする。なお、天井面等の見上げ部分は、工程 3 を省略する。
- (2) 塗替えの場合のしみ止めは、特記による。特記がなければ、種別が B 種又は C 種の場合は、工程 1 の下塗りをしみ止めシーラーとする。なお、しみ止めシーラーは、塗料の製造所の指定するものとする。

表 7. 9. 1 コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り

工 程	種別			塗料その他		日本ペイント 商品名	塗付け 量 (kg/m ²)	
	A 種 類	B 種 類	C 種 類	規格 番号	規格名称等			
下地調整	○	○	—	7.2.5、7.2.6 又は 7.2.7 による。 ^{(注) 3}			—	
	—	—	○	表 7.2.4、表 7.2.5 又は表 7.2.7 による R C 種				
1 下塗り	○	○	○	JIS K 5663	合成樹脂エマルション シーラー	水性カチオンシーラー透明 無希釈 (しみ止めの場合は下記) 水性シミ止めシーラーⅡ 水道水 0~5%	0.07	
2 中塗り (1 回目)	○	○	○	JIS K 5660	つや有合成樹脂エマル ションペイント	水性ケンエースグロス 水道水 0~10%	0.10	
3 研磨紙 ざり	○	—	—	研磨紙 P 220~240		—	—	
4 中塗り (2 回目)	○	—	—	JIS K 5660	つや有合成樹脂エマル ションペイント	水性ケンエースグロス 水道水 0~10%	0.10	
5 上塗り	○	○	○	JIS K 5660	つや有合成樹脂エマル ションペイント	水性ケンエースグロス 水道水 0~10%	0.10	

(注) 1. 下地調整の種別は、塗料その他の欄による。

2. 新規に塗る場合は、A 種又は B 種とし、下地調整に代えて、素地ごしらえを 7.3.5、7.3.6 又は 7.3.7 により行う。
3. 押出成形セメント板面の下地調整は、表 7.2.6 による R B 種又は R C 種とする。
4. 下塗りに用いる合成樹脂エマルションシーラーは、上塗塗料の製造所の指定する水系塗料とする。

※ドアノブまわりなど頻繁に手で触れる箇所には、プレートを貼るなどの処置が必要になる場合がありますのでご注意ください。

● JIS K 5663 合成樹脂エマルションシーラーでは下記商品も使用可能です。

- ・ 水性カチオンシーラー (ホワイト)
- ・ 水性透明シーラー
- ・ 水性ホワイトシーラー

7. 9. 3 木部のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り

屋内の木部のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りは表 7.9.2 により、種別は特記による。特記がなければ、次による。(7)新規に塗る場合は、A種(多孔質広葉樹の場合を除く。)とする。(1)塗替えの場合は、B種とする。

表 7. 9. 2 木部のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り

工 程	種別			塗料その他			日本ペイント 商品名	塗付け 量 (kg/m ²)		
	A 種 種	B 種 種	C 種	規格 番号	規格名称等	種類				
下地調整	○	○	—	7.2.2 による。						
	—	—	○	表 7.2.1 によるRC種						
1 下塗り	○	○	○	JIS K 5663	合成樹脂エマル ションシーラー	—	水性ウッドベースⅡ*	0.07		
2 パテ かい	○	—	—	JIS K 5669	合成樹脂エマル ションパテ	耐水形 薄付け用	H i ビニレックス 耐水パテ(仕上)	—		
3 研磨紙 ざり	○	○	—	研磨紙 P 1 2 0 ~ 2 2 0			—	—		
4 中塗り	○	—	—	JIS K 5660	つや有合成樹脂 エマルション ペイント	—	水性ケンエースグロス 水道水0~10%	0.10		
5 上塗り	○	○	○	JIS K 5660	つや有合成樹脂 エマルション ペイント	—	水性ケンエースグロス 水道水0~10%	0.10		

(注) 1. 下地調整の種別は、塗料その他の欄による。

2. 下塗りは、塗料を素地によくなじませるように塗る。木口部分は、特に丁寧に行う。
3. 下塗りに用いる合成樹脂エマルションシーラーは、上塗塗料の製造所の指定する水系塗料とする。
4. 新規に塗装を行う場合は、下地調整に代えて、素地ごしらえを 7.3.2 により行う。

* ドアノブまわりなど頻繁に手で触れる箇所には、プレートを貼るなどの処置が必要になる場合がありますのでご注意ください。

* H i ビニレックス耐水パテ(仕上)は、屋外及び水回りには使用しないでください。

※「水性ウッドベースⅡ」は、JIS K 5663合成樹脂エマルションシーラーの相当品です。

(社内試験で該当規格の性能を満たしています)

7.9.4 鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り

屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りは表 7.9.3 により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

表 7.9.3 鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り

工 程	種別			塗料その他		日本ペイント 商品名	塗付け 量 (kg/m ²)	
	A 種	B 種	C 種	規格 番号	規格名称			
下地調整	—	—	○	表 7.2.2 によるRC種			—	
鋸止め 塗料塗り	○	○	—	7.4.3(1)による。			—	
1 中塗り (1回目)	○	○	○	JIS K 5660	つや有合成樹脂エマ ルションペイント	水性ケンエースグロス 水道水0~10%	0.10	
2 研磨紙 ずり	○	—	—	研磨紙P220~240		—	—	
3 中塗り (2回目)	○	—	—	JIS K 5660	つや有合成樹脂エマ ルションペイント	水性ケンエースグロス 水道水0~10%	0.10	
4 上塗り	○	○	○	JIS K 5660	つや有合成樹脂エマ ルションペイント	水性ケンエースグロス 水道水0~10%	0.10	

(注) 1. 鋸止め塗料塗りの種別は、塗料その他の欄による。

2. 新規に塗る場合は、A種又はB種とする。

- * ドアノブまわりなど頻繁に手で触れる箇所には、プレートを貼るなどの処置が必要になる場合がありますのでご注意ください。

7.9.5 亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り

屋内の亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りは表 7.9.4 により、種別は特記による。特記がなければ、A種とする。

表 7.9.4 亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り

工 程	種別		塗料その他		日本ペイント 商品名	塗付け 量 (kg/m ²)	
	A 種	B 種	規格 番号	規格名称			
下地調整	—	○	表 7.2.3 によるRC種			—	
鋸止め塗料 塗り	○	—	7.4.3(3)による。			—	
1 中塗り	○	○	JIS K 5660	つや有合成樹脂 エマルション ペイント	水性ケンエースグロス 水道水0~10%	0.10	
2 上塗り	○	○	JIS K 5660	つや有合成樹脂 エマルション ペイント	水性ケンエースグロス 水道水0~10%	0.10	

(注) 1. 鋸止め塗料塗りの種別は、塗料その他の欄による。

2. 新規に塗る場合は、A種とする。

- * ドアノブまわりなど頻繁に手で触れる箇所には、プレートを貼るなどの処置が必要になる場合がありますのでご注意ください。